



鶴見区

DATA (平成22年4月1日)

【設置年月日】	昭和2年10月1日	【面積】	32.38km ²
【区の人口】	271,224人	【区の花】	サルビア
【区の世帯数】	123,759	【区の木】	サルスベリ



鶴見区

特集

横浜の生物多様性

第1章

地球温暖化対策の推進

第2章

自然環境の保全

第3章

少負荷型都市づくりの推進

第4章

良好な都市景観の保全

第5章

公害(生活環境)対策の推進

第6章

資源循環型まちづくりの推進

第7章

環境教育及び市民の環境活動促進

第8章

市役所の環境保全に向けた自主的な取組の推進

第9章

環境分野における国際的連携の推進

各区役所の環境施策

付属資料

地球温暖化対策の推進

地球温暖化対策を地域や家庭で推進していただくための鶴見区環境家計簿(家庭版・子ども版)の作成や、出張エコ教室、つるみ・エコ博等の地球温暖化対策のPRを、鶴見区地球温暖化対策推進本部を中心にいたしました。



鶴見区環境家計簿(右:家庭版、左:子ども版)

京浜の森づくり事業

京浜地区(鶴見区、神奈川区の臨海部)において、事業者・市民との協働により、企業の緑地や公共の緑・水辺での緑の創造・拡充に取り組みました。

また、末広町の横浜サイエンスフロンティア地区では、フラワーロード事業として区が整備した道路の植栽帯について、草刈等の日常管理を地元企業に担っていただきました。(第2章 自然環境の保全参照)



末広水際線プロムナード育樹のつどいの様子

施設見学会

環境への理解を深めるため、リサイクル事業施設・エコ関連施設の見学会を実施しました。



リサイクル・エコツアーの様子(東京ガス環境エネルギー館)

G30子どもエコ劇場

ごみの減量・リサイクルに対する意識を高めるため、地域の人形劇団とタイアップして、G30をテーマとした人形劇等を保育園で実施しました。



子どもエコ劇場の様子(区内保育園)

鶴見クリーンキャンペーン

区内の企業・団体等に一齐清掃活動呼びかけ、ごみ袋・軍手の配布、ごみの収集などの活動支援を実施しました。



鶴見クリーンキャンペーン



150周年の森事業

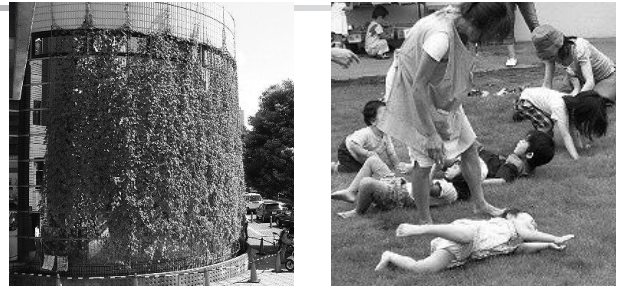
150万本植樹行動の一環として、10月に菅田みどりの丘公園で小学校、公園愛護会の皆さんと「植樹の集い」を行い、ドングリやツツジの苗木を植えました。



神奈川区みどりアップ計画

多くの区民が利用する施設へ呼びかけ、ゴーヤ・あさがおによる緑のカーテンを実施しました(全51施設)。区役所では収穫したゴーヤを使ったランチが食堂に登場、売上の一部は開発途上国に寄付されました。

区内の公立保育園(4園)では園庭の一部を芝生化しました。園児はもちろん、園庭開放時に訪れる親子も大喜びで、地域交流の促進という面でも効果が得られました。



かながわecoスクラムプロジェクト

区民・事業者・区役所の三者協働(=スクラム)による、地球温暖化対策の取組として、区民を対象に、体験型のエコライフ講座(エコドライブ教室やエコ・クッキング教室)を開催しました。

また、自治会町内会等の協力を得て、前期後期あわせて約700世帯で環境家計簿の取組を実施しました。取組の結果、約1万4千kgものCO₂を削減することができました。



環境にやさしいイベントの実施

かながわ湊フェスタ(4月)・区民まつり(10月)で、主催者の協力によりリユース食器を使用、ゴミを大幅に削減しました。区民まつりでは、企業の協賛によりカーボンオフセットも実施、排出した2,000kg相当のCO₂を植林により相殺しました。



横浜FCかながわ区民DAY

神奈川区を本拠地とする横浜FCのホームゲームにあわせて区民優待を行い、入場者数に応じたカーボンオフセットを実施しました。また、区内産の野菜販売などによる地産地消のPRも行いました。(当日入場者数5,051人、10,250kg相当のCO₂を植林により相殺)



西 西 区

DATA (平成22年4月1日)

【設置年月日】	昭和19年4月1日	【面積】	6.98km ²
【区の人口】	93,231人	【区の花】	ずいせん
【区の世帯数】	48,156	【区の木】	もくせい



西区

緑化推進に向けた取組

西区は市内でも市街化が特に進んでおり、緑被率は18区中一番低くなっています。平成18年度から、緑と花による街の潤いづくりや、つる性植物を育て

てつくる「緑のカーテン」によるヒートアイランド対策など、様々な形で緑化活動を展開しました。

平成21年度の主な取組

1. 「西区都市緑化推進施策検討委員会」の開催と「西区における都市緑化推進指針(素案)」の策定
2. 家庭での“緑のカーテン”の育成(春～秋)、「わが家の緑花自慢」募集、“緑のカーテン”講習会の実施(82人参加)
3. ゴーヤ種を配付し、家庭等における緑のカーテンの育成を推進(420世帯)
4. 公園・区民利用施設における区民ボランティアとの協働による緑化活動(春～秋)
5. 出前授業の実施(戸部小学校、稲荷台小学校、浅間台小学校)
6. 公共施設等での緑のカーテンの育成(5月～8月)、区庁舎屋上緑化実験(3月)

「西区における都市緑化推進指針(素案)」の策定

地域、企業、専門家等による検討委員会を開催(3回)し、西区における緑化推進の指針(素案)を策定しました。

家庭での緑のカーテン

ツル性植物の苗等を配布し、家庭で夏の暑い日差しを遮るための緑のカーテンを育てていただきました。

また、緑のカーテンを上手に育てていただくため“緑のカーテン”講習会を開催しました。各家庭での“緑のカーテン”を含めた「わが家の緑花自慢」を募集しました。

公共施設等での緑のカーテンの育成

区庁舎、土木事務所、南浅間保育園、軽井沢コミュニティハウス、西地区センター等の公共施設で緑のカーテンを育成しました。

区内一体となった脱温暖化に向けた取組

西区では、県下最大の業務集積地区(横浜駅周辺及びみなとみらい21地区)を有する特徴を活かしな

がら、CO-DO30の目標達成に向けて、区民・事業者・行政が一体となった脱温暖化行動を推進します。

平成21年度の主な取組

1. 「西区わが家の環境レシピ」における脱温暖化行動定着状況調査(6月、1月)
2. 「西区打ち水大作戦」の実施(7月～8月)
3. にしくライトダウン・キャンペーン(6月21日～7月7日)

「西区わが家の環境レシピ」における脱温暖化行動定着状況調査

区内在住者から無作為抽出した1,000人の方にアンケートを送付し、脱温暖化行動の定着状況を調査した。

西区打ち水大作戦

区内小中学校、西区役所、西地区センター・西公会堂、藤棚地区センター、野毛山動物園の公共施設等での実施の他、横浜駅周辺において、事業者の皆様とともに打ち水を行いました。

にしくライトダウン・キャンペーン

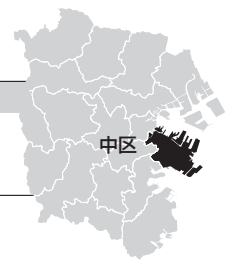
区内小中学校や家庭における消灯の取組(キャンペーン期間中)を行った他、横浜駅西口・東口において一斉消灯を実施(7月7日)横浜駅西口・東口振興協議会を通し、加盟各社に呼びかけたほか、加盟していない企業等についても個別にお願いをし、西口26社、東口17社に参加いただきました。



中区

DATA (平成22年4月1日)

【設置年月日】 昭和2年10月1日 【面積】 20.62km²
【区の人口】 146,120人 【区の花】 チューリップ
【区の世帯数】 76,169



マザーポートエリアクリーンアップ作戦

平成19年度から区内一斉清掃活動として行っている「中区クリーンアップDAY」を実施しました。横浜開港150周年を迎えた今年は、ごみゼロの日である5月30日(土)にマザーポートエリアと呼ばれる地域を、「マザーポートエリアクリーンアップ作戦」として、中区と西区の合同で実施しました。桜木町駅を

スタートし、中区と西区それぞれのゴール地点に向かう全20コースを清掃しました。また、各地域では自治会町内会、商店街、事業者が清掃活動を実施し、桜木町駅に集まった一般参加者と合わせて中区、西区合計3,612名が参加しました。



スタート地点の桜木町駅に集まった参加者



中区コースゴール地点の山下公園

脱温暖化行動の普及啓発

中区では様々な脱温暖化行動の啓発活動を行っており、平成20年度から八都府市の地球温暖化防止一斉行動「エコウェーブ」に合わせてキャンドルナイトを市民団体と協力して夏と冬に開催しています。廃油から作るエコキャンドル・ワークショップを行うなど、限りある資源の有効活用の促進を図りました。開港150周年記念イベントの横浜18区紹介デーにおいては、脱温暖化クイズと太陽の光で料理を

作る「ソーラークッカー」を使用した脱温暖化の啓発活動を行いました。そのほか、夏の脱温暖化行動として、8月13日と14日の二日間、中華街発展会協同組合、水道局等と協働し中華街打ち水大作戦を実施しました。打ち水会場である中華街大通りと関帝廟通りの、打ち水実施前と実施後の温度差を計測したところ、約5℃の地表面温度の低下という効果が得られました。



打ち水実施前 地表面温度 約42℃



打ち水実施後 地表面温度 約37℃

また、商業地区という中区の特性を活かした独自の取組みとして、加盟店舗でマイ箸やマイカップ、マイバッグを使用した方にポイントを付与する「エコポイントカード制度」を導入しました。

一定のポイントがたまったらお買い物券として使

えるようにすることで、脱温暖化の行動を目で見える形にするだけでなく、地域の活性化も促進しています。この運動を、伊勢佐木町商店街3丁目から7丁目をモデル商店街として実施しました。

特集
横浜の生物多様性
第1章
地球温暖化対策の推進
第2章
自然環境の保全
第3章
少負荷型都市づくりの推進
第4章
良好な都市景観の保全
第5章
公害(生活環境)対策の推進
第6章
資源循環型まちづくりの推進
第7章
環境教育及び市民の環境活動促進
第8章
市役所の環境保全に向けた自主的な取組の推進
第9章
環境分野における国際的連携の推進
各区役所の環境施策
付属資料